

# さわやか

# 7月号

令和3年7月1日発行

## 『学ぶ』姿勢を大切に

校長 漢野 有美子

先月行われた加賀地区大会兼県体予選会では、生徒たちは、はつらつとしたプレーを繰り広げてくれました。3年生の皆さんにとっては、中学校部活動の集大成となる大会でした。残念ながらここで引退となった皆さんも、ここまで部活動を続けてこられたことに感謝の気持ちを持ち、次の目標に向かって気持ちを切り替えてください。また、県大会に出場する皆さんは、さらに練習を積み、チームの心を1つにして、最高の試合をしてくれることを期待しています。さらに、北信越大会への出場権を得ることができるよう頑張ってもらいたいと思います。

さて、1学期も残すところ3週間となりました。特に、7月は、学習面・生活面ともに1学期のまとめ・振り返りが大切です。全校集会では、学習面・生活面についてそれぞれ担当の先生からお話がありました。自分のこれまでの振り返り、改めるべきところは意識して今月を過ごしてほしいと思います。

授業では、特に『学ぶ』を意識して取り組んでください。「学ぶ」ことは、教える側から知識や情報を学ぶ側へ移すということではありません。学ぶ側である生徒の姿勢こそが、知識や情報を獲得させるというものです。「これ、何だろう?」「おもしろいぞ!もっと調べてみよう!」など、学ぶことを決めるのは、生徒であるみなさんにかかっているとと言えます。このような「学び」を、一人一人がしっかりと身に付けていけるといいと思います。



### ◇7月の生活目標 「1学期のまとめをしよう」

遅刻せず登校することをはじめ、授業でのベル学、給食の準備、そして部活動などあらゆる場面で「時間を守ること」「与えられた時間を大切にすること」を意識し行動しましょう。また、自分がされていやなことは、他人に絶対にしないこと、人の気持ちに「気づく」、そして「行動」していきましょう。

### ◇7月の学習目標 「自分の学習をチェックしよう!」

先月の学習目標の「聴き方」「話し方」はしっかり意識して取り組めたでしょうか。授業で学んだことがしっかり定着しているかどうかを、定期テストでみるができます。中間テストや期末テストでの結果をもとに、1学期の学習の振り返りをして、理解できていないところを確実に理解できるようにしましょう。



1年生言語トレーニング



ペアで自分の考えを伝えます

3年生言語トレーニング



タブレットで調べながら本の紹介文を考えています

2年生国語「本を紹介しよう」

## 《お知らせ》

- ◇1学期保護者懇談会(3年PTCA)  
7月27日(火)  
午前: 8:30~12:00  
午後: 13:30~16:30  
場所 各教室
- ◇1学期終業式 7月21日(水)
- ◇夏期休業  
7月25日(日)~8月31日(火)  
全校登校日(8/2)  
実力テスト(8/31)
- ◇2学期始業式 9月1日(水)

# 通知表の見方「新しい学習指導要領による評価」について

通知表が  
変わります

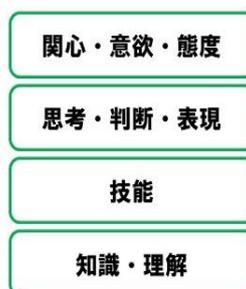
令和3年度より中学校で新学習指導要領による教育活動が始まりました。それに伴い、学習の評価の観点も変更され、通知表の内容も変更しました。

そこで、通知表の変更点と評価の仕方、通知表の見方についてお知らせします。

## 1 評価の観点の変更点

評価の観点は、これまでは各教科4観点（国語は5観点）で行ってきましたが、今年度からどの教科も3つの観点で評価することになりました。

《 これまで 》



《今年度から》



## 2 評価の仕方

各教科の評価の仕方は、ABCの3段階で評価します。

A、B、Cの数に応じて各教科の評定（1～5）がつきます。

各教科の目標に照らし合わせて、  
十分満足できるもの …A  
おおむね満足できるもの…B  
努力を要するもの …C

と評価します。「B」評価で各教科の目標を達成していることとなります。



## 3 評価の観点

### ① 「知識・技能」

これまでの評価項目の「知識・理解」と「技能」の項目が1つの項目にまとまりました。学習を通してどのくらい理解できたか、どのくらいできるようになったかを評価します。

何を理解しているか  
何ができるか



評価の方法（例）

- ・定期テストや単元末テスト等で、学習したことが理解できているかを確認する。
- ・実技テストなど実際に運動したり、演奏したり、操作したりしている様子を確認する。

### ② 「思考・判断・表現」

各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する力を評価します。ペーパーテストだけでなく、ノートやレポート等の記述、発言、話し合いなど、活動の様子や表現したものを通して評価します。

理解していること・できる  
ことをどう使うか



評価の方法（例）

- ・定期テストや単元末テスト等で、説明する力や考える力を確認する。
- ・授業中の発言や話し合いの様子から、知識を活用しているかをみる。
- ・制作物や表現したもの、振り返り等から知識・技能の活用の様子を見る。

### ③ 「主体的に学習に取り組む態度」

これまでの「関心・意欲・態度」と同じで、学習に取り組む態度を評価します。さらに、自分の学習を振り返ったり、試行錯誤したりして、よりよく学ぼうとする態度をこれまで以上に重視します。

評価の方法（例）

- ・ノートやレポート等の記述から、学んだことを生かしたり、学んだことをもとに考えを深めたりしているかを確認する。
- ・自分の書いた文章や制作物を見て、よりよくするために改善するなど、粘り強く取り組んでいる様子を観察する。

どのように学習に  
取り組んでいるか

